

2022年2月22日

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

一般財団法人静岡県教職員互助組合は、このたび、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施いたしました。

「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当される債券です。JICA 債で調達された資金は全額が JICA の実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会課題を解決するための融資に活用されます。主な融資対象は大規模インフラ整備事業（石炭を燃料とする発電所施設の新設・改修等に関する事業への出融資を除く）や貧困削減、人材育成を目的としたプロジェクト等です。

JICA 債の発行は、日本政府の SDGs 達成に向けた実施指針である「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（2016年12月22日決定）において、具体的な施策の1つに位置付けられました。「SDGs 実施指針改定版」（2019年12月20日、一部改訂）においても、「環境・社会・ガバナンスの要素を考慮する ESG 金融やインパクトファイナンス、ソーシャルファイナンス、SDGs ファイナンス等と呼ばれる経済的リターンのみならず社会貢献債としての JICA 債の発行など社会的リターンを考慮するファイナンスの拡大の加速化が、SDGs 達成に向けた民間資金動員の上で重要である。」とされており、SDGs 達成のために民間資金を動員するツールとして明記されています。

当組合では、今後も債券運用の適切なリスク管理のもと、ソーシャルボンド等 SDGs に関わる投資により、持続可能な社会の形成に貢献して参ります。

〈債券の概要〉

- ・ 債券名 第64回国際協力機構債券